京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

疎影横斜　みどり

▲京城中學校は去る六日の民會に於て愈々設立することゝ決定いたし候、中には大分口角泡を飛ばして反對論に熱中いたせし仁も有之やに聞き及び候が併し其は少數にて十一名中僅か二名の由に候、ヤツこれにて入學志望者の喜びは勿論父兄に取つても何の位滿足かも知れず候、唯此の上は完全にして圓滿なる成績を舉げられんことに意を致されんことを望ましく候

▲中學校設立に就て思ひ出だせしは所謂中學時代の少年は一學年、二學年位の歲はさて置き漸く進んで三學年、四學年に進み理屈の少しく解る頃に至るや兎角教師の命令に從はず得手勝手の熱を吹きたがるものに候、やれ某教師は壓制的にて兎角注入主義なりとか又某教師は無能にして師として仰ぐに足らずとか、甚だしきに至つては不幸にも暗に教師間に黨派の分れ居るを奇貨として各々も何れにか與みし其の結果同盟退校とか又は教師に辭職を勸むるとか生徒として怪しからぬ行動を敢てなすことの惡風に候、而して此の惡風は近時漸く跡を絕ち來りし模樣なるも今より三四年前迄は却々に流行したるものにて殆ど一時は當局者の威嚴如何にも係はりたる次第に候、思ふに當地に於ては此の如き惡風は斷じて流行いたさゞらんも併し局に當るものは平素より此の心を以て威嚴の保持と信望の確固とを保たれんことを是れ祈り候

▲ついて余輩の戒めんとするは中學校の生徒等が新春血氣の餘り意志を以て讀むべき書籍を手にせんよりは情を以て讀むべき書籍を手にしたがる所に候今の青年者流が男女を問はず此の弊に陷り結局濟度し難き墮落者となるはつまり爰にて這は大に當事者は勿論父兄にむつても注意いたさねばならぬ事に候今試みに東京博文館より發行せる雜誌部數を聞くに少年世界が一萬四千、少女世界が一萬六千、太平洋と中學世界が八萬、文章世界が十万、文藝俱樂部十萬二千の由に候が這は多くは青年男女の花客樣にて殊に文藝俱樂部は其の多くを占め居るとかのことに候

▲たとひ學識に稗益する雜誌とはいへ教科書の暗記のみに忙殺さるゝ筈の青年が如斯閑文字否な惡文字に親み居る傾向の滔々瓦を爲すに至つては眞個痛嘆の至りに不堪候余輩は吳々も如斯風習が京城中學校の生徒等に浸染せざらんことを是れ祈り候

●瑞光餘影（八）　魚遊痴史

▲安東縣の新市街即ち日本人居留地は地域頗る廣大にして區劃井然恰も碁盤形を作し且つ家屋の構造壯麗を極め之れ鴨綠江森林の爲め木材の豐富なるに因べけれども兎に角日露戰役當時に於る此地の旺盛なりしを察するに餘あり

大君に忠義の屍と血とで
築き上げたる此の土臺
家も屋敷も肩身も廣大く
世間晴れての門構まへ

▲斯かる大規模の新街地も戰後經濟界の激變に遭遇し土地の發展上に大打撃を受け諸般の經營亦一蹶挫を來たして殆ど中絶の狀態となり引續き今日の不況は到底一家を支持する能はずとて他へ轉ずる者續々あるに至り左しも廣大の地域も其一區劃内に三四戶の家屋ある所若くは一戶も無き所さへあるを見て余は坐ろに感慨に堪ざるものありし

金で購はれぬ命を拾てた
跡は野となれ荒れ屋敷
汗水流がして拓いた畑け
四年經つても此の始末
植へた民草枯らせる樣な
下手な農夫は誰者やら

文苑

●一簑一笠　青楓

その四

天吹く風寒く、窓打ち砂塵の眼に入りては、兩眼を摩すること幾度、かくて余は御殿場に着きぬ、日は早やトップリと暮れ果てゝ、春月淡く東海の芙蓉峯上に懸れり

夫れ富士の高峰や、嘗に詩歌に、將、談話に見きゝせしのみ、未で曾て之が實物を見たることなき余は、今やゝ本を去らとするに望んで之を見んとはする、アゝ奇しき緣哉と、私に胸に浮べて窓より覗けば、こは怨むべし、全山の夕霧に罩められて、見るを得ざりしことよ。

その五

沼津にて夕餐に空腹を醫し、一時間餘にして駿州は靜岡に着く、入るものあり、出るものありて、車中俄に騷擾を極む。

書見に倦み果てし余は、知らぬ間に夢の界に彷徨ひぬ、軈て夢覺むれば、こゝはこれ、中京の稱ある名古屋驛なり、時は午前一時十分、窓外紅裙隊の万歲聲裡に送られし、豐顏肥大の二等の乘客ア、記せよ彼は所謂當世の紳士なることを。

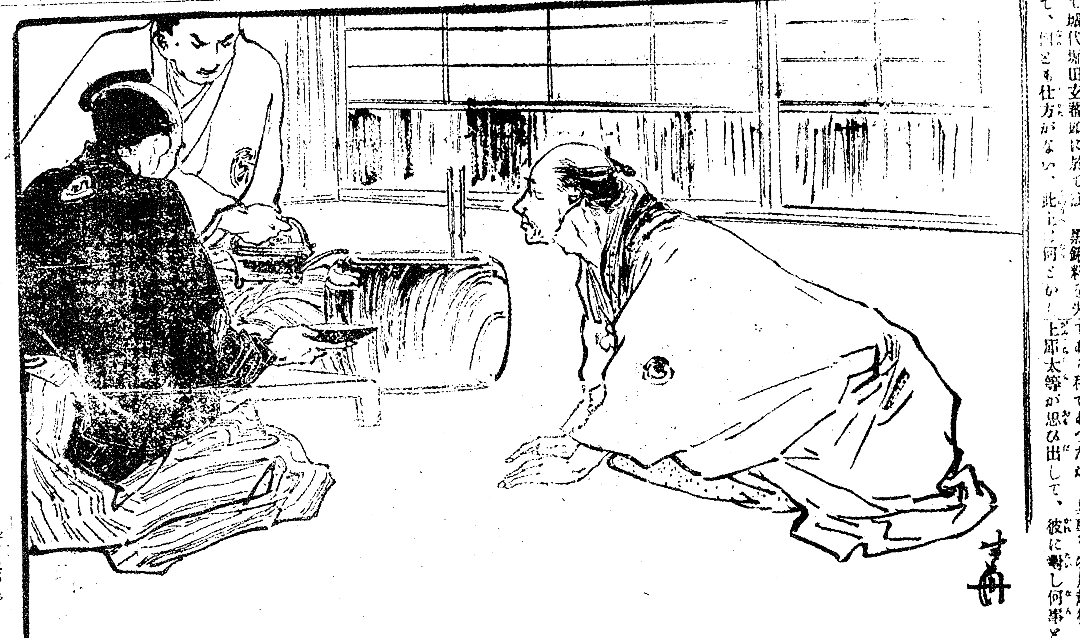
◎朝の一時間　うろ子

朝起て顏を洗つて火鉢の前に坐ると、ヘイ郵便と投込むのが平常も判に押した樣、手に取る京城新報帶封を切る間の樂しさ、先づ第一に社說を讀で次が近事片々、夫れから民文庫より文苑に移り、其の後が講談と謂つた樣な順序、オット忘れたマダ其一番眞ッ先に自分の投書が載せて在るか如何かと見廻すのが最大急務……ヤガラ一と通り全紙に眼を徹した頃、細君が「貴郎御飯を召上れ」是が僕の朝一時間である。

佐倉宗吾（廿五）　眞龍齋貞水講演



さて城代堀田玄蕃頭に於ては、黑鍬料を失つて、何とも仕方がない、此には何とか金儲けとしやうと、一同の者へ相談に及ばせやうではないかと、びました、其時に牧尾越後が 越「其事は何とか工夫を致しませう」と、そこで阪上庫太などの惡人ど、段々考へた、何うせ惡人其が打寄つての相談だから、善い方の考へはございません、今こゝに考へ出したのは堀田樣御領分、佐倉の御城下に、川喜多儀兵衛と謂ふ豪家がございます、此儀兵衛は久野三郎右衛門殿が、家康公御入國前に仰せを蒙りまして、佐倉城を築いた（即ち今の佐倉の城であります）其久野三郎右衛門から見立てられ万事城普請の時に、御用足をした人でございます、然るに儀兵衛は、實に私慾横領等もなく、至て精忠に御用を足しました故、久野三郎右衛門から、苗字帶刀御免で、佐倉下城一般の取締を仰付けられました、それから代々苗字帶刀御免でございまして、土井樣時分にもまた同樣、堀田加賀守御代に成つても、依然苗字帶刀御免、草分の百姓であると、別段の御取扱である程であつたが、其事を牧尾越後、阪上庫太等が思ひ出して、彼に對し何事とか段々取調べた所が、加賀守樣の御代まで、苗字帶刀御免であつたのが、上野介の御代に成つて、何うも當家に何の功もなき者へ、苗字帶刀御免と云ふ事はおかしい、久野三郎右衛門の時には功があつたから、それでも宜しいが、當家には何の功もないと云ふ事を言ひ出した者があつて、終に川喜多儀兵衛は、苗字帶刀御免の儀は、御取り上げに成つて仕舞つた、そこで今迄は立派な者で、苗字帶刀と云へば、近郷近在に響き亘つてゐたが、茲に御取り上げと成つたから、儀兵衛も先祖へ對しても面目ない、已の代に成つて此樣な事に成つたのは、申し譯がないと思つてゐる所へ、城代の玄蕃はじめ、牧尾越後、坂上庫太等が相談して、彼奴を以前の通り、苗字帶刀御免にしてやらうと、既に城代玄蕃の屋敷へ川喜多儀兵衛を喚出した何御用であらうと、早速支度をして、城中玄蕃の屋敷へ出ました時に ○「イヤ、ア、川喜多儀兵衛であるか 儀「御意にございます、 ○「此方へ通ふらつしやい」平日はなか／＼城代の屋敷などは、權柄を以て取扱ふが、今日は皆な取次の者まで莞爾として、何となく心持が好い、そこで案内に從つて通ふつて來ると、堀田玄蕃、牧尾越後、阪上庫太、その他五六名がゐる、其席へ案内をされたから蛇縮して 儀「是は／＼御城代樣はじめ孰れも樣、御機嫌よろしう 玄「ア、儀兵衛であるか 儀「ハーツ、恐れ入ります 玄「今日其方を喚出したるは、餘の事にはあらず、汝は御當家へ對して何の功もないと云ふ所より、苗字帶刀の儀は、一時御取り上げに相成つたが、其方先祖の功と申し、土井大炊頭、先代加賀守樣、いづれも御思召を以て、引續き苗字帶刀御免でありたるに依り、此度も深き御考へを以て、苗字帶刀先般の如く御免に相成る、また御城下取締の儀も、仰付けらるゝに依て、左樣心得ねばなりますやう、其方ごとき者が、苗字帶刀御免である以上は、國表の飾りとも成り、御當家御名譽の一にも相成る事と存じ、吾々より殿へ上申して、御免を取らせたのである 先づ目出度いから、一獻つかはすであるぞ 儀「ホーツ、それは又た有難い仕合せ、是までは代々、苗字帶刀御免でございました所が、私の代に成りまして、御取り上げを蒙りましたのは、如何にも先祖へ對し、面目ないと心得て居りました所、圖らずも此度その儀仰付けられましたのは、有難い仕合せ、誠に以て辱うございます 玄「ム、今日は緩寬と酒を過ごせ 儀「有難い仕合せでござる」御酒を頂戴いたし、御暇を告げ、大喜びで立歸りました



京城新報

統監後任論

幾度か繰り返されて毎時風說に終るは統監更任說なり、頃者亦もや更任の說傳はりぬ曰く、議會閉會後に於て伊藤公は愈々統監の印綬を解き其後任は寺內陸相たるべしと余輩は未だ俄に之を信ずるものに非ずと雖も、先頃來風說する如く伊藤公が統監の重職を帶びながら任地を空ふして日本に留り專ら韓太子の教導輔翼に努むべし云々の說には斷じて首肯する能はず、老驅を以て遠く韓國に在任するに堪へずとせば他に適當の人物を求めて之に讓らざる可らず、責任を重ずる立憲政治家たる伊藤公として斯る無責任の擧あるべき筈なし、故に余輩は全然此說には信を置かず寧ろ更任說を以て眞に近しと判定せざる可らず、素より伊藤公に於ては三年の歲月を經過して何等見るべきの事績なきを以て今此儘にして去るは甚だ遺憾なるべしと雖も帝國對韓策の上より見れば此際新なる人物によりて統監政治を運用するの優れるやも知る可らず、素より余輩の眼中には山縣系と伊藤系との差別なし、從て伊藤公と寺內陸相とに於て何等好惡の念なし、亦其他の人に於ても然り、新しき事を處理するには新しき人を要す、余輩は此見地よりして統監政治の面目を一新するには此際更任するを可とするものなり、若し夫れ此更任說を以て眞なりとせば、後任者の選擇は最も肝要の事なりとす、風說の後任者たる寺內陸相は果して適任なりや否や、寺內陸相は規律正しき軍政家なり、自己の主張を貫徹せんとするに頗る雄なりと聞く之を換言すれば伊藤公の缺きたる統監政治の根底に斧鉞を下し得るの勇ありや否や、然れども先輩に對しては頗る融和力にも富めりと聞く、伊藤公と寺內陸相との關係は伊藤公と桂侯との關係よりも淡からんも、長州出身の先輩として遠慮する所あるは勿論なり、政治系統に於ては寺內陸相は全然山縣系に屬するを以て政治上の意見は無論異るべきも能く自己の所信を斷行して伊藤公の政策と矛盾するを辭せざるの勇あるべき乎、余輩は此等の事情を觀察して寺內陸相を以て適任なりと思はざるなり、然らば何人を以て好個の後任者となすべき乎、桂侯ならば伊藤公の政策に眞正面に反對せざるべきも婉曲に自己の所信を遂行するの智略あらん然れども桂侯は首相の位置を去て統監たることは敢てせざるべし、然らば目下閑散の位置にある伊東巳代次子乎、彼は今や全然伊藤派を去りて山縣系に屬すれ共表面丈は尙伊藤公にも惡しからず、彼ならば或は辛辣なる手腕を以て統監政治に生命あらしむべきも、彼は敵の多きと至誠を缺くの點に於て適任とすべからず、要するに過去三年の統監政治は伊藤公の智略により華麗なる外皮的政策の行はれたるを以て、今後之を改善するとせば智的一方に流れずして大なる勇略を要す、所信を斷行するの政治家を要す、斯く觀察し來れば後藤新平男は稍々適任なるに似たり、人は伊藤公の後任としては尙ほ貫目足らずと云ふ、併し現今の世の中は實力の時代なり、豈勳爵の重きを要せんや、伊藤公の能く引例するクローマー卿は一總領事たりしに非ずや、後藤男は慧巧を缺くが爲に失敗することあるも能く斷ずるの點は多とすべし、余輩と雖も彼を以て最適任者なりとは思はざるも比較的適材なりと思ふ、彼は國務大臣たるよりも殖民地の頭領に適せり、適材を適所に置くとせば寧ろ統監たらしむるを可とす、民間より拔擢するとせば河野廣中あり、島田三郎あり、大石正己あり、犬養毅等あり、決して適當の後任者なきに苦しまず、亦是れ斷を要するの問題なり。

雜報

●國有土地と私賣

驛屯土其の他國有土地を其の小作人等より買收すること近時到る處に行はるゝ狀況なるが右は結局買收者の損失に歸するのみならず國有土地管理上捨て置き難きを以て當局者は右の小作人其の他の管理者に對し土地を私に賣買したる時は國法に依り嚴刑に處することを警告すると同時に土地買收人に右の損害を慮り土地買收前所轄財務署に就き備付帳簿に照合し其の國有なるや否やを確むべき事を注意せりと

●土地測量と訓令

近來土地整理若しくは土地測量の流行を奇貨とし不正の徒にして往々其向の測量員と稱して內地に入り込み無智の人民を欺瞞する者又甚しきは地方官吏と結托し公議に依ての測量と僞り多額の金錢を强請するもののある由なるが之れを不明に付し置かば將來政府にて土地測量に從事する際に於て甚だしき防害を見るを以て內部は之れが取締りの爲め地方觀察使及各府尹郡守に向つて大地主にして自己の必要に基づき測地を他に依賴する者は格別然らざるものは近き將來に於て政府は精細なる土地測量を爲し各所有者の便宜を圖る計劃あれば其際濫りに測量を他に依賴して不測の損害を蒙らざる樣各管內の人民に達示すべき旨訓令を發する筈なりと云ふ

●民籍法の施行

民籍法の施行に關しては兩三日中に施行細則を發布せらるゝ筈なるが其の方法は一定の期間を定めて全國同時に着手し先づ民籍簿の基本を作製し爾後の異動は人民の申告と警察官の簡査とに依る等にて着手に關しては目下當局者に於て準備中なるが此れに要する臨時費の支出に詮議中に屬すといふ

東京電報

▲大屋氏の招宴

鐵道管理局長大屋權平氏近々歸任につき後藤、平井鐵道院正副總裁以下を今夜花[illegible]

桑港電報

▲日本實業家招待

米國太平洋岸の實業家は布哇商業會議所と協合し日本實業家を招待することゝな[illegible]ち寄りを求め接待することゝせり（九日東京經由）

●大臣參與官會議

昨日午前十時より統監府に參與官定例會議を開き午後一時より統監邸に大臣會議を開き四時散會せり

●桑苗蠶種の配付

農商工部は蠶業獎勵の目的を以て本年度に於て約十萬本の桑苗を無料配付すべき事は既報の如くなるが其の希望者非常に多く請願書の提出されたる九觀察道にて既に十數倍に達し尙續々請願ある模樣なりとか而して苗木は目下內地を積出し輸送中に屬し不日配付の筈なるが既に運送に多數の時日を要し居るを以て配付を受けたる者は迅速に植付の手續をなし此れを枯死せしむるが如き事なき樣注意せざるべからずと當局者は語り居れりと又同一の趣旨にて同部は韓國にて植種したる蠶卵原紙を養蠶地方に無料配付する筈にて目下手續中なりといふ因みに漢城府管內にては桑苗の代りに果樹苗の配付をなす筈なりと

●自由港閉鎖と貨物

浦鹽自由港閉鎖は露曆三月一日より實施を議決し六日公表したると同時に大藏大臣は該件に關し必要なる訓電を發することを委任せられたるが同關稅局は自由港廢止期日前輸入せられたる貨物に對し一定の記號を添附せしむべく告知を發したりといふ

●漁場許可の方針

四月一日より施行せらるべき漁業法により漁業の許可を出願する者又は申請するものに對して農商工部水產局が之れを許可する方針は漁區を出願する如く先願權にて之れが權利を附與する事なく其の漁區又は漁場に緣故ある者又は經歷を有する者等を詮考したる上にて許可する方針なれば出願の前後に依りて許否を決すべき者にあらずと云ふ

●地方官資格審査會

一昨日內部に於て觀察使より推薦したる地方官資格審査會を開きたるが同會に於て合格したる郡守は不日閣議に提出すべしと

●水難救濟の必要

水難の救濟に關しては先進國は國家事業として此れを經營し日本に於ては水難救濟會なるものありて此の任に當れるが韓國に於ては日韓船舶の沿岸に於て被難するもの莫大なるに拘らず此れが救濟の設備なく極めて遺憾なる情態に在り今此れに對する多少の機關を設くるは急要なる事に屬すと某當局者は語り居れりといふ

●各宮債務と韓人

一司七宮に屬する各宮債務の內去る五月の審査會にて決定したる部分は合計八口にして此金額六十五萬圓なるが法理上よりは到底支拂ふべき理由無きものなりと雖も是等の者は從來各宮に深き關係を有すること故特に愛恤金として十五萬圓を下附することゝし五日間內に申し出づべき旨其の當該者たる兼役及商人等へ通告せしに是等關係人一同は去る八日商業會議所に集合し協議せし結果之れを受けざることに確定したるを以て其の總代人は一昨日財產整理局に到りて回答したる由なるが前項債務の內其の半額は明禮宮に屬するものにて此分は未だ回答に接せざるとの事にて此の愛恤金を受けざる時は到底恢復の途なきもの故速に受けたる方當該者の爲めなるべしと當局者は語り居れり

●韓國石油界の混戰

韓國に於ける石油の需用は年々增加の速度[illegible]に過ぎざりしもの昨四十一年には約五十萬[illegible]に從ひ前途益需用の增加すべきは必然にして之を其の人口に比較し本邦の石油消費額[illegible]力を有せり從來韓國に於て最も勢力を有し[illegible]會社が盛んに勝利印を輸入し來り之に對抗し始めしより[illegible]チレグサン會社は[illegible]捲土重來の勢ひを以[illegible]く過般社員を派遣して實況を調査し益々大[illegible]々的競爭を開始せん計畫なりと云ふ

●財源調査局と技手

度支部臨時財源調査局に於て天日製鹽事業を主掌さる事となり從つて技師の定員を增加するの必要あり曩に官制を改正して專任技師一人を增員したるが今回更に一人を增加し五名となす事となり近日再び官制の改正をなす筈なりと

●土地家屋の證明

從來統監府地方部に於て取扱ひ來りたる土地家屋典當等の證明又は查證事務は其の筋の都合に依り爾今法務院に於て取扱ふ事となり己に同院に事務引繼ありたる由なれば今後證明又は查證規則に基く申請に關し各理事廳の處分に對する異議等は同院に於て取扱はるゝ由

●飜譯官補の試驗

內部管內警察署に在勤せる通譯日本人十五人、韓人二十九人中より飜譯官補を採用するため警察官練習所に於て日本人に對しては明日午後十時より韓人に對しては十五日午前十時より試驗を執行すと

●中學校舍の視察

中學校々舍は獨立門內なる獨立舘を充用すべき由は既報の如くなるが昨日豫算委員一同は之れが視察をなしたりと

●紀念祭と臨時列車

鐵道管理局にては今十日龍山軍司令部に於て擧行の陸軍紀念祝典參列者の便を計り龍山、南大門間に臨時列車を仕立つる由因に會場は龍山驛附近なれば參列者の爲め便利なるべし尙兩驛よりの發車時刻は左の如し

往路（南大門發、龍山行）
午前十一時三十分 午後〇時十五分
歸路（龍山發、南大門行）
午後三時二十分、午後三時五十八分
午後四時四十分

●東拓總裁と招宴

東洋拓殖會社宇佐川總裁は來る十三日午後六時より新聞記者及通信員を招待し披露の宴を張る由なり

●貨幣發行高週報

第一銀行韓國總支店に於ける二月二十八日より三月六日に至る貨幣發行高は左の如し

第一銀行券總發行平均高	八、七五二、六〇〇
內 正貨準備發行額	二、九二八、七〇〇
保證準備發行額	五、八二三、九〇〇
銀行券中均手許有高	五七九、三六八
銀行券市場平均流通高	八、一七三、二三二
硬貨發行額（二月六日現在）	四、二七八、三〇〇
內 金貨貳拾圓	一、三五〇、〇〇〇
同 拾圓	五〇、〇〇〇
銀貨五拾錢	六五一、五〇〇
同 廿錢	七四七、〇〇〇
同 拾錢	三九二、五〇〇
白銅貨五錢	八四六、四五〇
青銅貨壹錢	一三〇、〇〇〇
同 五厘	六〇、八五〇
金貨五圓	五〇、〇〇〇

●農產物の時價

臨時財源調査局の最近調査に係る韓全國重要農產物及畜產物の平均時價を擧ぐれば左の如し（但し農產物は一石、畜產物は一頭と知るべし）

種類	時價	種類	時價
粳白米	一一、五二四	大豆	四、六〇二
糯白米	一〇、七一三	小豆	六、二二四
大麥	四、三七四	牡牛	三八、〇〇〇
小麥	五、八三九	牡豚	五、八一〇
粟	六、二八八		

●獸疫豫防法と會議所

森田代議士外二名より衆議院に提出されたる獸疫豫防法改正法律案は目下委員付託中にあるが同案によれば獸疫豫防上滿韓及西比利亞地方を發し又は通過したる畜牛の輸入を禁ずるにあり而も萬一本案にして議會を通過せんか年々七八十萬圓以上の貿易を有する韓國生牛の輸出を杜絕するのみならず將來韓國に於ける牧畜業に大打擊を加へ其發達を阻害するを以て當京城日本人商業會議所內聯合會事務所に於ては昨日統監府に吏員を出頭せしめ既往十ケ年間に於ける生牛輸出貿易高を示し詳細陳情したる結果統監府に於ても大に同感せられ本案に對し統監府として反對の意志を發表すると共に生牛輸出統計等在京中兒玉書記官に向け即時發電せられたりと云ふ又聯合會にては各會議所に向け一々協議するの遑なく仁川會議所と協議の上衆議院議長及本案委員長たる根本正氏並に在京中の戶叶京商書記長に向け電報を發したりと尙戶叶書記長へは兒玉書記官と協議すべき旨同時に打電したりといふ

●仁川第五民會開會

仁川第五民會は昨夜午後七時より仁川民團樓上に於いて開かれたるが詳細は次號に報導すべし

●度量衡課の移轉

曩に報道し置きたる如く從來龍山に在りし農商工部商務局度量衡課は八日元衞戍病院跡山林局隣りに移轉せり

●貞慶民會の義捐

中署管內貞慶民會にては七日總會を開き成川郡地方の飢饉地へ民間より醵金して義捐金を送致することに決定したりと

●石工組合の認可

仁川石工業者川上又次郞外二十四名は此程組合を組織し仁川理事廳に許可請願中なりしが昨日認可を得たり

●松井警部の名譽

內部警務局勤務警部松井信助氏は曩きに下の關救難所長たりし際水難救濟所定の救助及其他必要事務に努力したる功勞により今般總裁宮殿下より賞牌を授與されたり

●仁川府面長新任

仁川府面長朴元順氏は此程辭任したるが右後任者は昨日仁川府に於いて各會社長洞長等五十名にて選擧を行ひたる結果全弘潤氏三十票にて當選せり

●南山本願寺追弔會

南山本願寺別院にては明十一日午後二時より例年の通り陸軍紀念弔法會執行の由なるが尙午後七時半よりは佛教講話並に說教あり滿韓布教監督龍山師及び在韓國各別院輪番等出演すとの事

●東拓役員の出張

東拓會社林理事は善多村囑託を從て昨日出發したるが行程は群山に出て木浦に至り羅州附近を視察すと▲大橋參事笠井囑託は群山全州金堤迄は林理事と同行尙古阜扶安等を視察し種々調査の上二十日歸任すと安東調査役笠川囑託は群山にて右一行と分れ江景公州附近を調査し烏致院より出て歸途牙山天安平澤等を視察調査すと

●信夫理事官歸任

仁川理事官信夫淳平氏は管內視察として過日來忠淸道巡行中なるが今十日群山を發し明日歸任する筈なり

●正誤

昨九日二面雜報欄「陸軍祭寄報」の記事中廣瀨友輔なる者の名を以てビール四打入箱三個を寄附せしと記しありしが右は內國通運會社龍山派出所の名義を以て寄附せし由に付き爰に訂正す

●淸津通信

羅南兵營工事は冬季中工事を休止せしも建築は續行したるため著しく進捗し覆馬場三棟倉庫六棟廐舍十數棟は既に出來上り兵舍も數棟は棟上げを終りし程にて中央の公園電信郵便局旅館料亭雜貨商等の盛況驚くべきものあり現在の人口日本人二千餘、韓人支那人約千名に及べり尙本年中には現在咸興府にある我が陸軍の乘馬隊を全部羅南に移轉せしむるの豫定なりと▲鏡城は目下步兵第三十六旅團司令部と步兵第四十五聯隊本部とありて之れが用達商人と韓人貿易者とは相當繁榮を極め居れり此の地は三里を距てゝ生氣嶺の石炭礦を有する爲め其の生產力に伴うて追々發達すべく其の石炭礦山の附近は一帶の溫泉場にして四時浴客の絕ゆる間なし▲會寧には工兵大隊と步兵大隊とあり日本人五百余にして本年は豆滿江上流より流材を開始する爲愛知、靜岡等より筏流しの人夫として入り來るもの多く既に百七八十名は集合せり豆滿江の上流は延岩と稱する地にして十數里の間は松樹密生せるが專門技師の調査に據れば殆ど無盡藏にして現在の豆滿江を利用して流材するも凡ろ百五十年の日時を要すべしと▲淸津港は目下邦人二千二三百名あり本年は百四十五間の突堤を波止場に作り解船の繫留に便宜を與ふる計畫にて四月より開始の筈理事廳は本年五月より警察署は四月より何れも工事に着手せんとの事にて其の他學校監獄等も現今のものにては既に狹隘なる爲增築する事となれり▲淸津會寧間の手押式輕便鐵道を改修して本鐵道となし會寧より局子街若くは六道溝に延長の議ありしが會寧、羅南、鏡城は極力應援し三浦代議士を[illegible]して議會へ建議案を提出し近に北韓新報社長を上京委員とせし橫斷航路を往來せしめ大阪、神戶の物資を敦賀迄鐵道の便に託し而して敦賀浦鹽間の航路に反對行動を執らんとの決心なるが如し

●敍任辭令（三月三日）

依願免本官並兼官 內部事務官兼秘書官 立花[illegible]介
給七級俸 金州郡守 李升采
同 長連郡守 朴喜宅

公人私人

▲石川大尉（軍司令部副官） 視察を了へ昨日歸任

▲矢田部領事官補（新任安東縣領事官補）赴任の途次昨夜入京す

▲渡邊警視（釜山警察署長） 八日入京不知火旅館

▲北尾榮太郎（石川縣農業株式會社取締役） 八日入京不知火旅館

▲松本重敏（淸津理事官） 八日入京巴城館

▲湯淺秀富（慶北道警察部長） 昨日歸任

▲永澤法務評定官 訴訟上取調の爲め昨日午前八時五十分發にて釜山に向ふ

近事片々

▲桂首相は近々議會に於て對韓政策の方針現在の成行に就て演說するとの事である

▲是れ伊藤公の身替り乎否國の宰相として其政策を發表するは當然怪むに足らず

▲然れども伊公の統監たる以上は首相たる自身の政策に非ずして或は伊公の政策乎

▲桂首相には亦獨自一已の對韓策あらん

▲今次の說明は或は伊公政策の辨護ならん乎

▲此頃迄門前雀羅を張りし朴齊純の邸は其內相たるに至て俄に前門市を爲すといふ

▲榮枯盛衰は人事の常とは云ひながら左り迚韓國程其變轉の速なるは亦た稀也とす

▲總ての人事皆此型にて昨の味方は今の敵反覆常なきは由來韓人の固疾性となれり

▲韓人相互の交情に於て然るのみならず一國外交の上に於ても然り嗟何ぞ薄信なる

▲歐米の目に映ずる韓國は好箇の基督教傳道地たり新舊各派の傳道は愈々以て盛也

▲英國聖公會一層傳道に努めんとすカンタアベリー大僧正は大に韓國傳道を奬勵す

▲米國新教各派も益々敎勢の發展に努めつゝ有斯る現象は統治上如何の影響あるや

▲一進會員此頃完用內閣に總辭職の勸告をなさんとして頻に魂膽しつゝありと云ふ

▲完用內閣彈劾に關し有力なる證據を蒐集せりとは眞乎之れ該會最後の活動なる乎

▲閑中朽鎭頭者犬養に書を送て曰く大石角田如き姦（官）通僞（議）員節義を解せんや

▲暫く政界を退き居れる正造君恐らく髀肉の歎に堪へざらん此際渠の痛罵は必要也

▲然れども未だ正義は尙は嚴として存す

▲犬養木堂に同情を寄する者多きは其一證也

▲若槻大藏次官は議會閉會後に藏相たるべしとの說あり或は然らむも貫目尙足らず

▲若し好個の藏相を求めば現會計檢査院長田所北雷こそ適任なれ桂首相如何となす

▲桂侯にして田尻を容るゝの度量あらば一層侯の價値を上げん乎希くは勇斷せよや

[illegible]郎氏は今回先君の十年祭を施行したる際[illegible]

雜報

▲大屋氏の招宴　鐵道管理局長大屋權平氏近々歸任につき後任…井鐵道隊正副總裁以下を今夜花月に招待す（十日發）

▲日本實業家招待　米國太平洋岸の實業家は布哇商業會議所と聯合し日本實業家を招待することとなり布哇にては日本實業家渡米の際其の立…

●韓國石油界の混戰　韓國に於ける石油の需用は年々增加の速度を高め去る三十六年度は二十四萬箱の消費に從ひ前途益需用の增加すべきは必然にして之を其の人口に比較し本邦の石油消費額より推算すれば少くも二百五十萬箱の消費せられ殆ご孤城落日の姿となりしかばライ會社が盛んに勝利印を輸入し來り之に對抗し始めしより錨印は非常に其の領域を蠶食く過般社員を派遣して實況を調査し釜山に一大油槽を設置し統監府鐵道と運賃の特約を結び大發展を爲さん目論見にて益々大…

●酒井政平の破綻（十五）

……悲むべき居留地の問題▲中村再造氏の被告事件眞相……

辯論の調書（證人調）

原告等及被告代理人等前回の通り出廷被告酒井政平欠席

公開口頭辯論に依り明確する條項左の如し

副理事官は證人熊谷頼太郎、市原盛宏、須田近思郎に對し別紙調書の通り訊問を爲したり被告代理人の求めに依り原告等に對し

問　本訴狀中目的物表示の項**冒認**の**地所**は競賣の結果酒井に於て所有權を失したることは認むるか

答　其事實は知らず

被告代理人は整理案の無効となりたるし事實を證する爲め被告酒井政平を晩問ありたし

原告等は必要なしと述ぶ

副理事官は右申請は之を却下すとの決定を言渡したり

原告等は酒井も整理案に異議なきことを證する爲め當法廷に出頭せる**森田熊夫**を證人として訊問ありたしと申立たり

副理事官は右許容する旨の決定を言渡し直に森田熊夫に對し別紙調書の通訊問したり

原告等は相當の保證を立つるに付き本件判決に假執行の宣告ありたしと申立たり

被告代理人は立證準備の爲め辯論續行を求むと申立たり

原告等は不同意の旨を述べたり

副理事官は右辯論續行の決定を言渡し之が期日を二月廿四日午前九時と指定し當事者双方に出頭を命じたり

此調書は當事者に讀聞けたるに之を承諾せり

明治四十二年二月…　統監府　京城理事廳理事官小村…

證人　**熊谷頼太郎**調書

一　本件の成敗には利害の關係なし

問　甲第二號の證を示して之を知るか

答　知つて居ります之は**私と市原**兩人にて作成したるものであります

問　其案を作成したる理由は

答　酒井政平は多くの負債あるも其整理を爲さずんば破產に類する悲境に陷みたるより平素同人と懇親なる者等配慮の末善後策を講じ各債權者に對し種々協議を重ねたるも債權者中に異議を唱ふるものあり就中最多額の債權を有する**中村再造**の如きは容易に肯ずるの色なかりし位にて何とか圓滿に解決するの策なかるべきやと自分へ相談ありたるが當時**經濟界**の**不振**の折柄若し酒井政平に於て破產するとせば**財界**に**影響**甚大なるより自分も**傍觀**するに忍びず出來得る限り盡力すべしと承諾したるも當地の有力者と共に圖らんと考へ**市原**に事情を述べて依賴したるに同人も承諾し協議の結果**債權者會**を開き自分等兩人に**整理案の作成**を諾するかと問ひたるに出會者一同**一切依賴**すべしとの事なるより**中村**再造の意向を聽きたるに同人は他の債權者等と意見の行違ひありて多少異議を述べたるも**兩君**が盡力し呉るゝに於ては可成**讓歩**すべしとの事なるに付**清華亭**に於て更に債權者集會を催したるに債權者の一人なる**飯泉**は**兩君の整理案**には**絕對服從**するとの條件にて托する事にしては如何との發議を爲したる處滿場**異議**なく贊成の意を表し該發議可決したるも**中村**出席なきより後に自分より其旨を傳へ贊否を質したるに**同人**も**同意**を表したるに付茲に於て自分等兩人の**自由な意見**に基き整理案作成の依賴を受けたるにより市原と熟議の末今御示しになりたる案を作成したる次第であります自分等は該案の作成に盡瘁したる…**實行**の責任は全く**管理**…（つゞく）

●伊藤公と女優

▲澁澤邸の晩餐會▲韓國女官等泣く

澁澤男爵には去る四日午後五時より伊藤公爵を始め隨行員諸氏及び今回來朝したる韓國女官等を王子の邸に招待して晩餐會を催し餘興として帝國女優養成所の生徒を招き昨年の試演に好評を博したる大郎冠者氏作の悲劇「心の響」を演ぜしめたるが澁澤男が特に此女優を公に紹介したるは一昨年の九月帝國劇場發起人の諸氏（知名の紳士三十餘名）が公を築地の瓢家に請じて同劇場設計の事に就き計る所ありし際公は諸外國の劇場に於て女優を尊重する事及び將來の劇壇には女優の必要なる事等を說きたるが是れぞ帝國劇場が女優を養成する動機となれるものなるを以て今度公の歸國を幸ひ養成所の生徒を紹介したるは當夜の主人即ち帝國劇場會社の會長たる澁澤男爵が最も意を籠めし所なりとぞ左れば公も女優の演技を見て稽古日數の少なきに拘はらず其技の上達せるを喜びたるが此夜同じく此餘興を見物したる韓國女官は公の指圖を以て附せられたる通辯より芝居の筋の說明を受け何れも此劇の主人秋山瀞子の身の上に同情の涙を流しつゝ熱心に見物し居たりと云ふ

●猛虎南山に現はる

二三日前の薄暮龍山より八名の韓人打連れ歸京の途に就き陸軍練兵場の上手なる韓人設置の觀音堂の前路に差し掛りたる處後方よりミシリ〳〵と何物か追跡する有樣なるより振返りて之れを眺めたる處牡牛程の一匹の猛虎一名の韓人の臀部に咬みつき深き骨に達するの重傷を負はせ何處かへ逃げ去りたる由なるを以て不日憲兵隊に於ては虎狩りを催す筈なりと

●深山の美人

▲れふでの素性

女は青年の歸りのあまりに遲き故話の行き掛りからもし先方にて何のやうな事柄の起りはせずやと氣遣ひ幾度か門口を出でゝ青年の歸りを待ちつゝある中漸て青年は悄然として歸り來りたれば女はヤレ嬉しやと安堵の胸を撫でおろし氣もソハ〳〵と先方との話の顛末を聞かんものをとアセリしに青年は默然として何事も答へず唯一言「立派に關係を絕ちました」と極めて簡單なる言葉なるより女は何うやら物足らぬ心地し「今少し詳しき樣子を聞かして欲しい」と涙ながらに縋りしも青年は頑として聞き入れず要は親の條件既に片付きたれば此より…[illegible]…は歸國の旅費を送り呉るゝやうとの書面を差出せしに程經て父より返事來りそれに添へて青年への謝狀と共に少なからぬ旅費を送り呉れしより女は今更ながら父の惠深きに感謝し同時に少しなりとは思ひながらも先きつ日の醫藥代として五十圓の金を白紙に包みて青年に返禮せんと押し遣りしに青年は何うあつても受け取らず已むなく原籍と此れからの落ち付く先きを尋ねしにそれが明し呉れざるより女はホト〳〵困じ果てしが軈て何と思ひを定めしものか女はいそ〳〵旅裝を整へさらば是より國許へ歸る程に名殘り惜う思ひは山々なれどこれにてお暇をいたします併し此の御恩は心に銘じて死んでも忘れませぬ……折角お身體を御健者にと雇て履ひ來れる轎輿に打ち乘りて女は悄然と禮山の里をば出發したりぬ（一二）

林　玉華

右の者幹事辭任に付自今本會務に關係無之候

三月八日　**長唄嗜好會**

●海中の捕物

▲三刑事の働き

仁川署の三刑事が一昨晩一時頃同地仲町二丁目糸岐商店の表を通行したる際に怪しの曲者一名立ち居たれば直に引き捕へんとしたるに賊は驀進に逃げ出し海岸通りより海中にザンブと許りに飛び込み干潮を利して砂島に逃がれんとしたるを坂下今井石川の三刑事は膝を沒する泥中をものともせず約四丁余を追ひ海中にて大格鬪をなしたる上終に捕縛し仁川署に引致し目下取調中なるが詳細は次號に掲ぐ

●雁ご燕

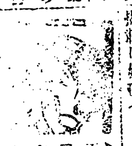
神奈川縣城郷村六角場生れ當時新町曾春樓抱妓明石事齋藤タケ（二十）は此程去る弗且に落籍され目出度赤飯を配りて姐さん永々御世話になりました▲茨城縣猿島郡古川町大字古川平民六三郎妹河合ハル（二十）は一千圓の前借にて清華亭より今奴と名乘りてヘイ今晩は……

●巷のいろ〳〵

▲鐵道官舍の火災　二月廿五日午後三時二十分京義線雲田驛鐵道員上條正吉官舍より出火し間口十間奧行三間のバラック葺一戶を全燒す損害二千四百三圓なり▲人畜の轢死　二月廿七日午後二時京義線威遠面山城洞にて韓人一名馬と共に列車に轢死同日午後三時同所附近に於て清國人一名轢死す

●韓語掲載

新築の方々が韓語習得の御便宜にもと簡單なる韓語と會話を愈々明後日よりの本欄へ掲載し始むべし



◀平民文庫▶

▲僕は先日長谷川町の伊藤時計店へ懷中時計の修繕を賴みに往た時同家の娘絹子さんの綴方清書を見たが其筆蹟の美事には驚いた聞けば年はまだ十四だそうなが大人も及ばぬ達筆である（感服生）▲懷かしの韓國の王城前は日本の料理屋を以て恰も一廓を成して居る有樣だ夜半靜寂なる城內に彼等の謠や淫聲猥語は手に取る樣に聞ゆる此の事何んと宗主國の體面に係はるではないか（太平洞人）▲試みに夕刻太平湯の女湯を見玉へ無遠慮無作法極まる淫賣婦で浴室は占領されて居る有樣だ良家の婦女は片隅に小さく成て洗つて居るではないか以て如何に彼等が跋扈して居るかゞ知れるであろふ（同人）▲東京あたりでは宋秉畯や一進會を大層偉いもの〻樣に思つて居るらしいドーモ日本內地では韓國の事情に暗くつて困る野田卯太郎や…人會を買冠つて居る樣な事ではまだ〳〵トチモ……（隋月太）▲一圓のキッス料大枚三十圓と謂ふ一珍聞韓話が西小門外にありましたよオホヽヽ（きく子）▲僕は韓語と柔術と碁と自轉車の稽古を一度に行りたいと思ふが何分暇が無て困る其癖新聞に投書する閑は幾らでもあるのが不思議さ（新聞狂）

…郎氏は今回先君の十年祭を施行したる際喜捨として金十圓を京城孤兒院へ寄附したり

用燃料 無煙炭

用途 ……鐵、暖爐、竈用に適す

省煉炭…東…

無煙煉炭工場

京城特約店 電話六〇三番 …商會 韓國一手販賣 …二丁目

神田組

▲無料紹介欄▼

人事部

用達業に多年經驗を有す給料望まず雇はれたし 姓名在社（一八五）

求職業 友人歲二十才普通教育あり從來外國商館に勤め商店及會社事務員に雇はれたし但會話に心得あり 社内河村（一八六）

店員入用 二十才以下にして身元保證人ある者 明治町一 園山商店（一八七）

でっち入用 十八歲以下にして身元保證人ある者 龍山元町三ノ三四三日韓組白米小賣店（一八三）

女中入用 可成年老けたる人を望む 龍山元山三の二八鐵道運輸聯合會内松原キムエム生に告ぐ匿名にては御要求に應じ難し（係）

女中入用 但十六七歲位 旭町三 滿生

物件部

旭町一丁目山の手にて風景絕佳の土地建物付にて讓り度し 姓名在社（一七五）

泉致院近傍にて田畑二十余町歩納家二棟農具各種小作人共に讓渡しの相談に應ず 姓名在社（一七七）

貸家 京城明治町二丁目所在二階建五間疊建具完備勝手元用水便利也 家賃十五圓、廿圓、卅五圓、四十五圓 明治町角藤田合名會社貸家係（電話二三〇）

貸地 龍山青坡契（彈藥庫橫）千五百坪便利貸附仕候風景絕佳住宅向 京城北米倉町一丁目 多田質店（一八〇）

貸家 若草町一温突三間半疊敷一間外に炊事場押込建具付にて極めて閑靜家賃十三圓 若草町一の三元矢島（一九一）

廣告

詩花 京城南山町一丁目病院前 電話……番

ウアイオリン講習

本會は新に練習用樂器を備へ左記の日懇切に教授す

毎週月水金 午前十時より午後十時まで

講習日以外は出教授にも應ず

詳細は本會に問合せられたし 京城永樂町三元田中雜貨店橫に入る

音樂講習會

主任 勳七等 淺井秋水

漢城病院ヲ辭シ京城日ノ出町第一小學校門前ニ於テ開業

内科 小兒科

外科 眼科

診察ニ從事ス

森田醫院

院主 正八位勳六等 森田虎太郎



登錄商標



特約店（いろは順）

本町六 田中支店 電話七六四番

本町四 前田酒店 電話一三七番

本町五 酒井政平 電話八四番

當京城は乾燥の地にして塵芥甚しく衛生上憂ふべき事に有之候依て小生に於ても公衆衛生遺憾に感じ昨年來其の筋に出願中の處今回京城市中全般の撒水業請負の御認可を得愈々本月より着手致候條日韓人諸君御贊同被成下度此段廣告候也

一撒水料金一ケ月一間（六尺）ニ付 金六錢

但大道ハ一ケ月（二間半迄）ニ付 金八錢

明治四十二年三月

京城本町七丁目一番戸（電話六九一番）

撒水請負業 谷川事務所

谷川三藏

破天荒の大安賣出し

時下餘寒尚難凌の候四方各位樣益々御清榮奉賀候弊店儀御蔭を以て日に増し隆盛に赴き候段難有奉多謝候就ては平素の御愛顧に酬へん爲め本日より向ふ一ケ月間を限り正札より貳割引の大廉價を以て販賣仕候間何卒御購求の榮を得たく候也

明治四十二年三月一日

京城本町理事廳前 富田製靴本店

同 本町六丁目 同 第一支店

同 南大門外 同 第二支店

鴨綠江特種木材九州セメント取次販賣

末口一尺八寸以上長さ五間迄其他各種材

建築業 柴田芝六

京城旭町三丁目 電話九六八番

京城曙町（電話六〇八番）

統監府御用
宮内府御用

軸物表裝
金銀屏風
額面襖張

…川表具店

▲清潔の下宿▼

客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候

壽町二丁目十番戸橫小路（元花屋跡）

▲懇切の下宿▼

かめ屋

醇良清酒

澤亀

大阪府堺市

宅合名會社釀

○建築業

京城本町七丁目……

中川卯之助

電話六九一 料金……

○多年の經驗にて建築……は便宜御相談可申候……

……館

學理應用最新術式催眠及無催眠治療

頭痛、吃音、喘息、腎臟病、不姙症、脚氣、淋病

氣鬱症、耳鳴、黃疸、生殖神經病、ヒステリー

神經痛、齒痛、子宮病、神經衰弱、腦病、肩ノ凝

肺病、月經矯正、便秘、アルコール中毒、眩暈

胃腸病、心臟病、脊髓病、寢小便、リウマチス

トラホーム、結膜炎、鳥目、近視

京城若草町二丁目八十七番戸の七

弘濟療院

（若草町一丁目藤田雜貨店東へ入る二軒目門内櫻井町櫻井湯西へ入る第二發生館院隣）

特約販賣自製

漬物 味噌 醬油 製造元

大上商店

京城本町五丁目（電話二五一番）

和洋酒、罐精酢、穀物麵類銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣

尚御望に依り商品切手調進仕候

東京火災保險株式會社

明治廿年創立資本金一千萬圓

日本國火災保險業の嚆矢

代辨店 山口呉服店

事務所 京城本町二の三電話九番

●土耳古金口黃直輸入●

GDS

イ ン ペ リ ヤ ル

愛喫煙家諸賢

一、本品を御試用相成候得ば如何に風味に富み如何に芳香にして又健康に害無きやを知り給わん

一、本品は有名なる最良産地土耳古サモスに於て煙草の粹を拔き精製したるものなれば風味の卓越なる煙草自然の香氣を保有する等實に他品の遠く及ばざる所なり

二、本品の尤も誇りとする所は普通粗製品の如く身体に害を及ぼさゞる點にして煙葉採收後二ケ年以上經過したる烟草を以て精製するによりニコチン量極めて少なし

三、本品は永久の御愛喫に資せんが爲め特に日本支那朝鮮に於て破格の安價を以て販賣せり是非愛喫烟家諸彦の御試用を偏に御勸め致候如何に口當りの好きか、如何に芳香なるか、如何に害なきか、而して如何に經濟的なるかを知り賜はんことを

直輸入元 シエリス商會 京城明治町一丁目（大坂屋前）

一手販賣特約店 井出商店 京城黃金町 電話一九〇番

同 內山米太郎 釜山本町

同 佐藤商店 平壤大和町 電話一〇七番

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓

積立及繰越金 八拾萬圓

株式會社 十八銀行 京城支店

京城南大門通（電話四二〇）

本店 長崎市築町

支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羣山、鎭南浦

韓國 日本 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢四厘）

長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

青々園

風味趣味實質の三者を兼備す

正銘宇治茶京都の茶器

故に尤も進物用に適當なり

京城本町四丁目

茶及茶器商 青々園茶舖

銘茶 ……

日本郵船株式會社

仁川 瀛船出帆廣告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 郡回漕店 電話三九番

●大連行（船客御斷） 新潟丸 月 日午後五時出帆

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 三月十三日後三時出帆

●大連、大沽、牛莊行 商砂丸 三月十八日正午

●大連、大沽、牛莊行 山東丸 三月三十日前五時

●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 四月八日正午

●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行 立神丸 三月十七日午後

御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ準

●新聞料 ▲一枚金二錢 ▲一ヶ月前金卅五錢 ▲三ヶ月……

●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回……

發行兼編輯人 秋山忠三郎

印刷人 高木久馬太

發行所 京城新報社 電話六六三番